

公表)みずたま(保訪)における自己評価総括表

○事業所名	みずたま		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		~ 令和6年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日		~ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日		~ 令和6年12月16日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者が希望した時にすぐに訪問できる基盤ができています	訪問時に時間がなければ、別で時間を取り情報共有する時間を確保している。 スクラムなどで訪問の支援計画も共有するなど情報共有	スクラム以外でも必要な時に関係機関と情報を共有していく
2	訪問するスタッフがなんとなく固定	今までの経緯や本人・保護者・学校など関係機関との情報をよく知っている。継続した支援がしやすい。	スタッフ間での情報共有を行い、色々な視点からの支援ができるようにする
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフが固定されていることで、固定スタッフの判断になっていることがある	固定されているケースの引継情報共有が他のスタッフにされていないことがある	訪問前後での様子の共有
2			
3			

公表)みずたま における自己評価結果(保育所等訪問)

事業所名	みずたま	公表日	令和7年3月24日
------	------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
環境・運営・体制	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8	0		
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1		スタッフが固定されているケースで引き継がれていないことがある。都度目標設定、振り返りをスタッフみんなでおこなう。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	よく分かりません。	今年度第三者評価を行っています。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		
適切な支援の提供	8 個々のお子様に対してアセスメントを適切に行い、お子様と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	8	0		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員が共通理解の下で、お子様の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8	0		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	12 お子様の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		スタッフが固定されているケースで個々の判断で支援していることがある。日々の療育の引継ぎの時間におこない、支援の方向性についてみんなで検討していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		スタッフが固定されているケースで引き継がれていないことがある。日々の療育の引継ぎの時間におこない、支援の方向性についてみんなで検討していく。
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	8	0	提案したことが実現可能か、訪問先と話し合い尊重している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	8	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのお子様の状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	0		
	24	(自立支援)協議会子お子様部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	25	日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	8	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、お子様や保護者の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	1		法人で、ぶどうの会(親の会)の事務局をしている。月に1回座談会や催しをしている。
	33	お子様や保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、お子様や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか。	6	2	・SNSは少ないかな。	毎月定期的に活動概要をHPやSNSに乗せている。具体的な活動については不定期で、外出療育が多くなっている。普段の療育場面・訪問場面などもせていきたい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	36	障害のあるお子様や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点	課題や改善すべき点
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	8	0		
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	1	・場合によって電話で行っている。	場合によって、スクラム会議で情報共有などすることがある。
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	8	0		
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	8	0	・やっているつもりだが、福祉目線が優先になってしまっているかも。	
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2	・家族に十分周知できてない。	家族にマニュアルの周知はできていない。訓練を実施した際には、連絡ノートなどで報告している。
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・安全面に考慮しているが、安全計画が作成されているかは分からない。	安全計画を作成している。安全計画にもとづきマニュアルの策定、施設点検や避難訓練など定期的に行っている。
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	・事前に十分に説明しているのかわかりません。	現在対象者がいない。

自事業所の強みと感るところ	自事業所の弱みと感るところ
<ul style="list-style-type: none"> ・利用児個々への対応。学校、保護者との連携。 ・保護者が訪問支援を希望された時に、すぐ対応できている。 ・様々な視点から支援。 ・必要であればすぐにおもむく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員個々での対応になることもある。 ・スタッフが利用児の訪問支援の目的(目標)をきちんと把握できていない? ・訪問前後の話し合いの機会が少ない。
工夫しているところ	弱み・課題と感っている点の原因
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援後、話ができない時は電話にて連絡をしている。 ・学校生活で活かせる支援を考えている。 ・利用児もよく知っている人が訪問に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した支援のため、同じ職員が訪問している。 ・計画書類での共有のみとなっている(実施後の報告も含めて)。 ・対応職員が固定されていることが多い。
更に充実させるために必要なこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援の様子の共有。行っていない職員も様子の把握に努めること。 ・訪問スタッフ以外のスタッフも目的、状況をきちんと把握していく。 ・時間がない中でもよい支援のために話し合いの機会を設ける。支援方法、様子の共有、引き継ぎ。 	